



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス

(2018. 3. 29)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048

URL <http://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

さわやか信用金庫と日本政策金融公庫との協調融資制度 さわやか創業フォローアップスキーム「順風満帆」の取扱い開始について

関 恵祐、刀禰 和之

ポイント

- ▶ さわやか信用金庫は、平成30年1月、日本政策金融公庫と連携した協調融資制度のさわやか創業フォローアップスキーム「順風満帆」の取扱いを開始した。
- ▶ 同金庫は、平成28年11月から「新三位一体改革」に経営の舵を切り、顧客の課題解決に注力している。今回のスキームは創業後5年以内の事業者に対する支援強化の一環と位置付けられる。
- ▶ 同スキームの融資金額は、同金庫および同公庫の合計4,000万円で、融資割合や融資期間は個別に調整する。
- ▶ 同金庫と同公庫は、平成30年度以降、「創業フォローアップセミナー」を定期的を開催し、業歴の浅い企業に対する経営支援を図っていく予定である。

1. 取扱いの経緯

(1) 新三位一体改革の開始

東京都港区に本店を置くさわやか信用金庫¹は、平成28年11月に「新三位一体改革」を打ち出し、平成29年度から本格的に取り組んでいる。この背景には信用金庫を取り巻く内外環境の急変があり、同金庫が今後も地域金融機関として社会的使命を果たしていくためには、従来型の営業スタイルから大きく舵を切る必要があると考えたからである。同金庫は顧客課題解決に向け、コンサルティング機能の充実を図り、地域密着型金融を推進中である。

(2) 創業支援体制の充実

わが国では開業率が廃業率を下回る状況が続いて久しく、中小企業数の減少が問題となっている。こうしたなか国を挙げた創業支援策が数多く実施されており、同金庫も顧客課題解決の一環として積極的に取り組んでいる。

同金庫の創業支援体制は、営業店（渉外担当者・窓口）におけるフェイス・トゥ・フェイスの営業活動に加え、本部・コンサルティングセンターおよび、平成28年1月に本格始動したシンクタンク子会社の株式会社さわやかリサーチが担う²。

(図表1) 協調融資スキーム概要

項目	さわやか信用金庫	日本政策金融公庫
制度名	さわやか創業フォローアップスキーム「順風満帆」	
対象先	創業後5年以内のさわやか信用金庫の業務区域内で事業を営む中小企業等	
融資商品	プロパー、保証協会付融資、その他の制度融資等	新創業融資制度 中小企業経営力強化資金等
融資金額	合計4,000万円以内（さわやか信用金庫、日本政策金融公庫の融資総額）	
担保	原則無担保（顧客の意向により不動産担保も可）	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資割合は個別の顧客ごとに調整 ・ 日本政策金融公庫の中小企業経営力強化資金を利用する場合は、認定経営革新等支援機関（さわやか信用金庫）の事業計画策定支援が必要 	

(備考) さわやか信用金庫ニュースリリースより信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

¹ 同金庫の平成29年3月末の概要は以下のとおりである。
本店所在地：東京都港区、預金残高：1兆4,692億円、貸出金残高：8,017億円、常勤従業員数：1,227人、店舗数：68店舗

² 同社HPは、
<http://www.sawayaka-shinkin.co.jp/research/>

一般に信用金庫の創業支援策には、創業を希望・計画する個人に対する創業前の支援（担い手の発掘）と、創業から間もない先に対する創業後の支援（担い手の育成）に分かれる³。

同金庫が地盤とする東京都から神奈川県の特徴の一つに飲食店やサービス業などの創業が非常に多いことがある。また近年は、IoT や FinTech など最先端のベンチャー企業が集積しつつある地域も抱える。その結果、創業したものの廃業や倒産に追い込まれる中小企業も多いのが実態である。

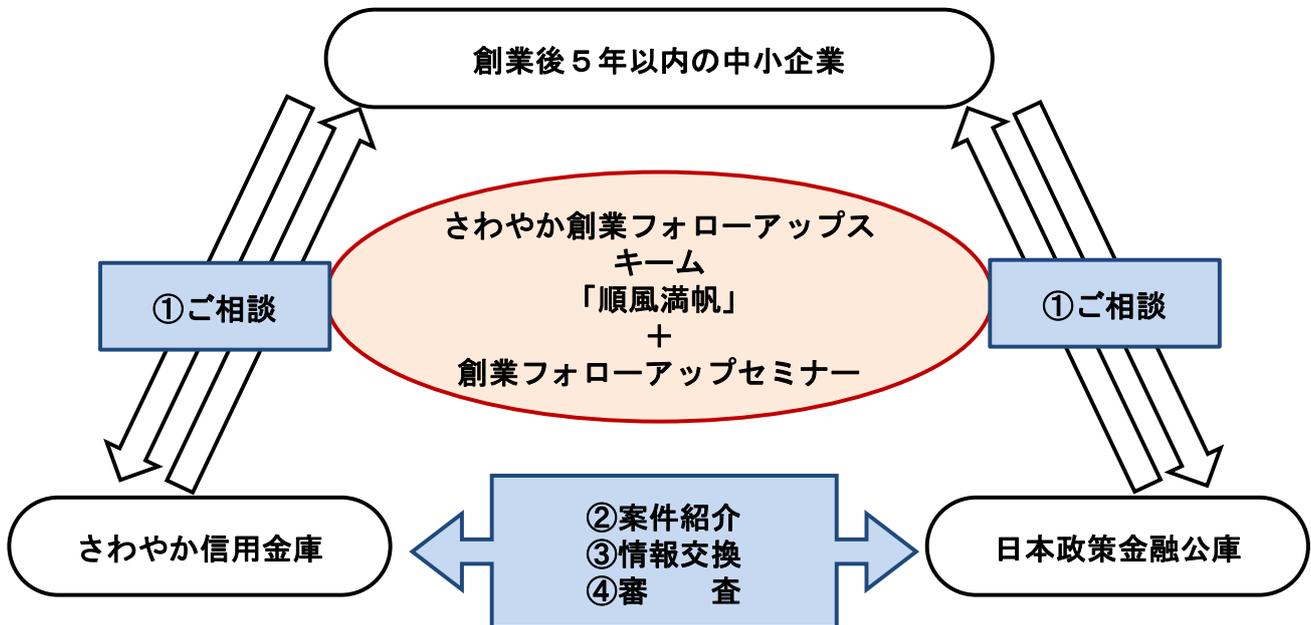
そこで同金庫は、日本政策金融公庫と連携した協調融資制度のさわやか創業フォローアップスキーム「順風満帆」の取扱いを平成 30 年 1 月から開始した。

2. 順風満帆の概要

(1) 仕組み

さわやか創業フォローアップスキーム「順風満帆」は、同金庫と同公庫とが連携して開発した仕組みとなる（図表 1・2）。創業後 5 年以内の中小企業を対象とする融資制度で、東京都の金融機関では初となる。通常、業歴の浅い中小企業は倒産などのリスクが高く、抱える課題も多様なため、同金庫と同公庫の有するノウハウや強みを最大限に活かす余地があるとされる。

（図表 2）スキーム（イメージ）



（備考）さわやか信用金庫ニュースリリースより信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

³ 詳しくは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所平成 30 年 3 月 29 日付金融調査情報（29-33）「信用金庫の創業支援策について-新たな担い手の発掘強化が必要-」を参照

(2) 特徴

同制度は協調融資の「スキーム」であり、いわゆるシンジケート・ローンとは異なる性格である。そのため、同金庫と同公庫の融資割合、融資商品、融資期間、貸出利率などは個別に調整する。そのため、創業先が借入れを行う場合、実際の融資審査や契約手続は同金庫と同公庫と個別に実施する必要がある。

3. 取組状況

(1) 連携の充実

同金庫は、日々の営業活動のなかで、創業先に対するコンサルティング活動に取り組んでいる。顧客の抱える課題の内容や要望等によって同公庫（同金庫営業店の最寄りの同公庫支店）と連携することになる。

逆に同公庫から案件の紹介を受けることもあり、業歴の浅い中小企業に対する情報交換等を密に行っていく予定である。

(2) 計画

同金庫と同公庫は、平成 30 年度以降、「創業フォローアップセミナー」を定期的で開催し、業歴の浅い企業に対する経営支援を図っていく予定である。当面の予定としては、5 月に第 1 回セミナーを開催する計画である。

以上